

アカミミガメ（通称：ミドリガメ）に関する基礎情報

1. 生態

- ・原産地：米国東南部
- ・大きさ：最大背甲長：雄 20cm、雌 28cm(2.5kg)で在来のニホンイシガメ(1kg 前後)等より大型
- ・食性：雑食性(魚類、甲殻類、水生昆虫、水草等)



成体



幼体

2. わが国への移入の経緯・状況

- ・1950年代後半から幼体を「ミドリガメ」の通称でペットとして輸入
- ・1990年代半ばに輸入量は年間100万匹であったが、近年は10万匹前後と推定。

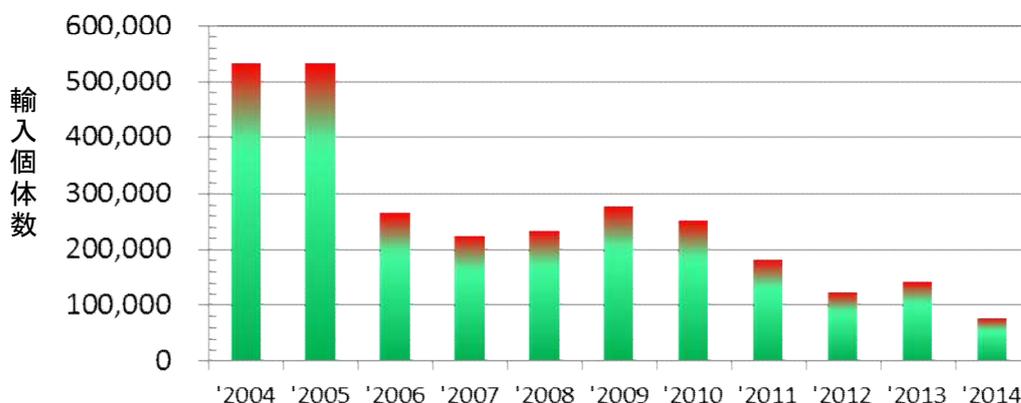


図. 米国からのカメ目の輸入量の推移(出典:財務省貿易統計)

- ・環境省の調査では、全国の世帯における飼育数として以下を推計。
(平成25年度) 約110万世帯で約180万匹を飼育

3. 生態系への影響

- ・ペットとして飼育されていた個体が野外に放たれることなどにより、北海道から沖縄まで全都道府県に分布。
- ・在来のカメ類と餌等を巡って競合し、定着地域では在来のカメ類や水生植物、魚類、両生類、甲殻類等に影響を及ぼしていると考えられる。
- ・レンコン畑のレンコンの新芽食害等の農作物被害の報告がある。